

学習指導案 L^AT_EX 2_ε スタイルファイル 仕様書

MIZOGUCHI Koki*

2022 年 8 月 29 日

ファイル情報

スタイルファイル名
TeachersGuide.sty
制作者
溝口 洸熙

LICENSE
MIT License
更新・問題
<https://github.com/MIZOGUCHIKoki/LaTeX-StyleFile>

コマンド定義

<code>\tptwidth</code>	tpf 列の幅設定	<code>tpt</code>	指導案表の 1 列目のヘッダ文字列
<code>\tpswidth</code>	tps 列の幅設定	<code>tps</code>	指導案表の 2 列目のヘッダ文字列
<code>\tptwidth</code>	tpt 列の幅設定	<code>tpt</code>	指導案表の 3 列目のヘッダ文字列
<code>\GuidlineTitle</code>	学習指導案 を出力	<code>attainmentTargetTitle</code>	到達目標 を出力

`\showTitle`

タイトル・指導日時・学級・指導教科書・指導科目・指導者を出力する。を印字する。

入力

`\showTitle{日時}{学級}{使用教科書}{指導科目}{指導教員}`

環境定義

`attainmentTarget`

到達目標を記述する。leftbar 環境を用いて構築している。

`TeachingProcedures`

* Kochi Univeristy of Technology

指導案表の枠を設計する。この環境は `longtable` 環境を用いて構築している。従って `tabular` 環境同様、列の区切りは `&` を用い、行の区切りは、`\\` で行う。

ヘッダの部分^{*1}は、それぞれ括弧内のコマンド^{*2}で定義しているので、変更したい場合は、適宜 `\renewcommand` ^{*3}で更新する。

tpfcol,tpscol,tptcol

`tpf`, `tps`, `tpt` の列に対して, `tpfcol`,`tpscol`,`tptcol` の環境下で編集を行う。これらは, `minipage` 環境を用いて構築している。

■ 1. 本時の展開

活動（tpf）	指導内容（tps）	指導上の留意点及び評価（tpt）
<code>\begin{tpfcol}</code>	<code>\begin{tpscol}</code>	<code>\begin{tptcol}</code>
<code>\end{tpfcol} &</code>	<code>\end{tpscol} &</code>	<code>\end{tptcol} \\</code>

^{*1} デフォルトでは、活動・指導内容・指導上の留意点及び評価

^{*2} `tpf`,`tps`,`tpt`

^{*3} 「活動」を「活動内容」に変更したい場合は、`\renewcommand{\tpf}{活動内容}`

学習指導案

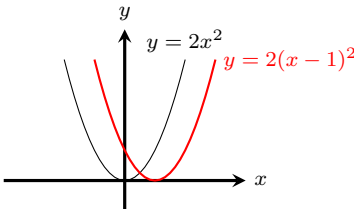
2022 年 8 月 29 日更新

日時 2022 年 8 月 29 日 2 時限目
 学級 3 年 A 組
 使用教科書 数学 I 数研出版
 指導科目 数学
 授業者 溝口 洸熙

2. 到達目標

x 軸方向への平行移動するグラフの関数を推測し，二次関数 $y = a(x - p)^2$ のグラフを描く．

3. 本時の展開

活動	指導内容	指導上の留意点及び評価
導入 前回の事前の学習の確認	<div>復習</div> 二次関数 $y = 2x^2 - 2$ のグラフを描き頂点の座標と軸の方程式を求めよ．	前時の評価を基に不十分な生徒に机間指導の際に個別に指導する．
展開 グラフから関数の式 $y = a(x - p)^2$ を推測する．	<div>課題 1</div> 二次関数 $y = 2x^2$ のグラフを x 軸方向に 1 だけ平行移動したグラフを描く． 	グラフをかくことで， x 軸方向に 1 だけ平行移動するとはどういうことかを考えさせる．

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> a a 	a	a